

徳島文化芸術ホール(仮称)主要諸室の整備状況について

1 大ホール

【舞台】

- ・ 大型のプロセニウム舞台として、オペラ、バレエ、ミュージカルから、ポピュラー音楽コンサートや演劇、伝統芸能、講演会、映画上映なども可能な設備を持ち、可動音響反射板により、生音のクラシック系音楽コンサートも良好な音環境で実施できる性能とする。
- ・ 大迫り、小迫りを設け、吊り物については道具バトンを中心に、電動、可変速、位置設定などのコンピューター制御を行い、ライトブリッジを含めて、プロの大型公演に対応した空間と機構を持たせる。

【客席】

- ・ 1階席は最大視距離25m程度で舞台に対して親密な空間となっており、上層階のテラス席とともに舞台と一体感を有する劇場空間としている。
- ・ 上層階テラス席を含む全席が舞台に向かって配置され、舞台演者と一体感の生まれる特別な鑑賞体験を可能としている。
- ・ 舞台に対するサイトラインを1席ごとに確認し、客席配置やテラスの重なりを調整することで、質の高い鑑賞環境を実現させる。
- ・ 1階席では前方及び後方に車椅子席を設けることとし、うち後方の席では着座のまま良好なサイトラインを実現するために必要となる高さを確保。さらに、一部の上層階テラスの最前列にも車椅子席を設け、舞台と一体感のある鑑賞体験を提供する。
- ・ 親子連れが楽しめるように観覧席を設置する。

【音響】

- ・ 音源から放出された音を追跡する方法で三次元シュミレーションを行い、残響時間の確保とともに、重要な初期反射音が舞台・客席に十分に到達するよう室形状の検討を行っている。
- ・ 内装仕上げについては、音響への配慮から重量を確保した反射面を基本とし、反射音の遅れ等の音響障害防止や、残響時間コントロールのために客席後壁を吸音面とする。
- ・ 可動音響反射板を使用せず舞台幕のみとすることで、舞台フライタワー内の吸音で響きが抑えられ、クラシックコンサートに適した長めの響きから、オペラ、演劇、講演会などの利用に適した短めの響きまで対応できる計画とする。

【リハーサル室】

- ・ 公演前のリハーサル利用等での利用を想定し、大ホールの舞台規模と連動した形状と広さを確保した計画とする。

【小ホールとの一体利用】

- ・ 大規模イベント時における小ホールとの一体利用を想定し、演者等が両ホール間を効率よく行き来できる計画とする。

2 小ホール

【舞台】

- ・ 舞台と客席が一体となった断面形状とし、巻き取り式の道具バトンや Horizont幕の設定で簡易なプロセニウム形式の舞台も可能とする。これにより、生音のクラシック系音楽コンサートから、演劇、伝統芸能、ダンスや映像など様々なジャンルの催事が可能となっている。
- ・ ガラス壁面は、2重のガラスの空気層間に暗転可能なスクリーンを装備する。

【客席】

- ・ 1階席のみのワンスロープの客席とし、全席を舞台先端から15m程度の範囲内に収めており、舞台上の細やかな表情や身振りを鑑賞できる視距離を確保している。
- ・ 客席後方に車椅子席を設け、親子連れが楽しめる観覧席も設置。

【音響】

- ・ 生音のクラシックコンサートや邦楽コンサート、演劇、ダンス、講演会等の多用途の利用を想定し、音源から放出された音を線として追跡する方法で3次元シュミレーションを行い、舞台・客席の形状を詳細に検討し、要求水準書で求める残響時間の確保はもとより、初期反射音が舞台・客席に十分に到達する計画としている。
- ・ 客席のガラス壁面については、ホール内側に形状変化を設けることで、音の集中を防止し、良好な音響に繋げるとともに、舞台には可動の側面反射板を設け、反射板の開閉、客席側の吸音幕の開閉により響きをコントロールし、多用途の利用に対応できる計画とする。

3 多目的スタジオ

【舞台・客席】

- ・ 平土間形式で半地下の落ち着いた空間とし、幅広いジャンルの練習活動や会議、講演会等、多様な目的に対応できるものとする。
- ・ 半地下の床面は使いやすい長方形に、天井部は楕円形とし、地上部の遮光可能なガラス壁とともに利用者の創造性を引き出す空間としている。
- ・ 様々な利用形態に対応するために、天井部に碁盤の目状のキャットウォークを設置し、舞台照明やスピーカーを吊せるように計画する。

【音響】

- ・ 多用途に適した中庸な響きを目標にし、音の多重反射を防止するために反射壁が平行にならないよう吸音材を配置する。

4 活動室

- ・ 活動室A（主な用途：ダンス練習、講演会、会議等）
- ・ 活動室B（主な用途：音楽練習、会議等）
- ・ 活動室C（主な用途：各種ワークショップ、講演会、会議等）
- ・ 活動室D（主な用途：各種セミナー、講演会、会議等）
- ・ 各活動室は多目的な利用を可能とした上で、主たる用途にあわせて、防音・防振を対策するとともに、遮光やLow-Eガラスによる遮熱の確保、さらに弾性を持つ床仕様等を決定する。

※上記整備状況の内容は、今後の設計進捗により変更する場合があります。

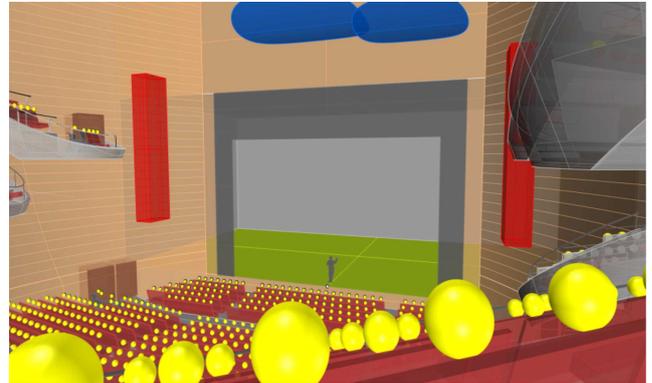
5 その他



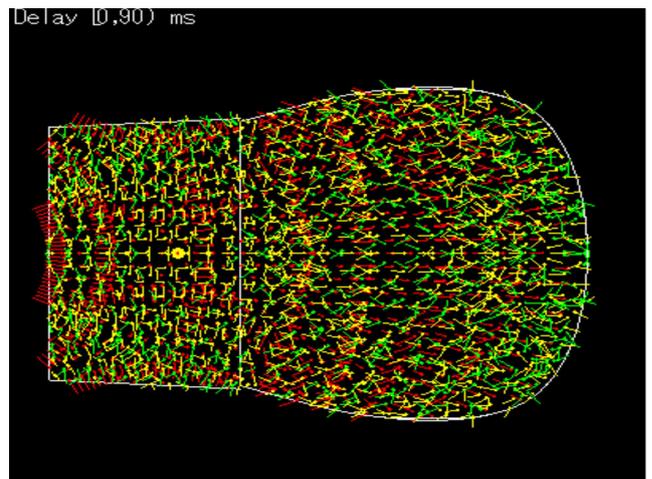
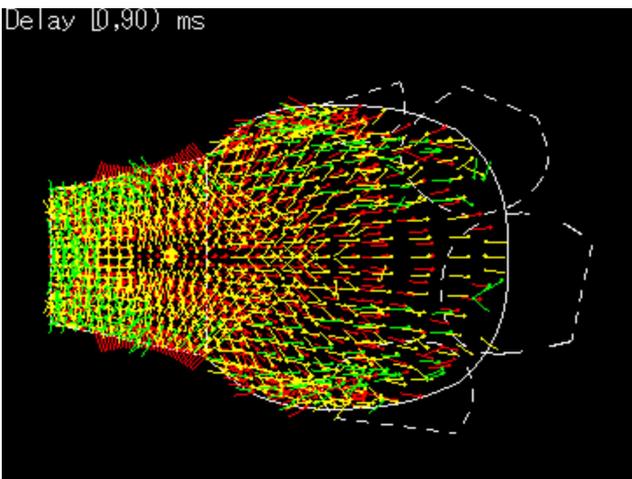
縮尺1/50の試作模型を用いた設計スタディ



縮尺1/250の試作模型による風洞実験



3Dシュミレーションで1席ごとにサイトラインを確認
写真は2階上手のテラス席からの眺め
(色はシュミレーション特有のもので実際とは関係なし)



優れた音響の実現に向けて、音を線形で追跡する3Dシュミレーションを重ねる
左は大ホール1階、右は小ホールにおけるシュミレーションの一部